

だんだん通信 2月号

だんだん通信は、365日オープンのだんだんテラスで読んでいる日々のできごとや地域の情報を発信するための通信紙です。



テラスで見つけた片方の手袋、冬を纏った忘れ物。

防災 ライフLINE トーク

「防災ライフLINEトーク」男山地域の防災について、わかりやすく、身近に感じられるよう、トーク形式でお伝えします！男山地域の防災に詳しい、男山在住20年の「そなえさん」が様々な防災についての質問に答えてくれます！

登場人物

さくらさん

最近UR男山団地に引っ越してきた。1人暮らし。趣味は手芸。休日にDIYで自宅を改修している。

そなえさん

男山在住20年。地域の防災に関心を持ち、情報発信活動に取り組んでいる。普段はとても温厚な性格だが、防災情報の既読スルーは決して許さない。

質問募集

地域の防災について、不安に感じていること、知りたいこと等、「そなえさん」への質問を大募集！だんだんテラスもしくは上記QRコードを読み取り、専用フォームから投稿できます！ぜひご活用下さい！



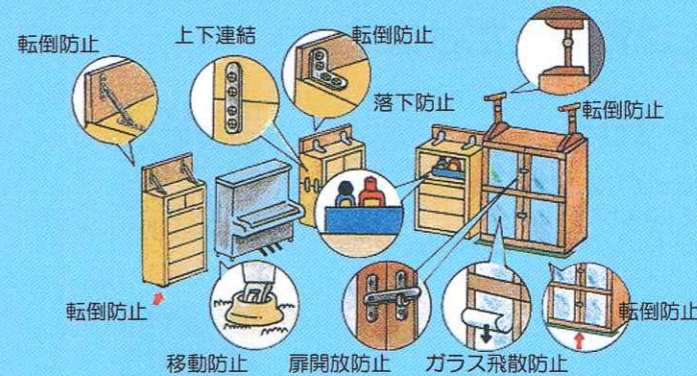
地震でケガをした人の3～5割が、家具類の転倒・落下・移動が原因だという調査結果があるのよ。

既読 13:10

そんなに多いんですか。怖いですね。どんな転倒防止グッズがあるのかしら？

例えばタンスや本箱なら、倒れないようにし字金具を取り付けたり、食器棚や吊り戸棚は、中の物が飛び出さないように開放防止の金具を取付けたり、テレビや冷蔵庫は、動かないようにチェーンで固定したり…でもまず最初は、家のなかを見わたしてみても、何が危険になるか下図を参考にチェックしてみてください！

既読 13:21



そうですね！早速チェックしてみます！

13:28

第三回だんだん俳壇を通じて「出会い」を広げよう！



QRコードからネット投句ができます！

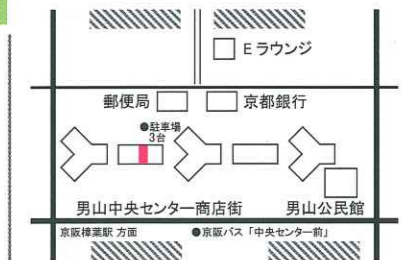
お題：だんだん通信の表紙の写真から発想してください。
 記載事項：①俳句、②氏名又は俳号、③電話番号（選句発表の際、内容確認の為に使用）
 締切：2月28日（日）まで
 提出先：だんだんテラスに設置する投句箱若しくは「だんだん俳壇」webページまで。
 選句発表：次号のだんだん通信に掲載

選者略歴：松本直子（まつもとなおこ）
 京都府生まれ。八幡支援学校の中学部で教員として勤めています。
 国語の授業で俳句に取り組み、生徒達と一緒に俳句の面白さに目覚めました！
 日本語の美しさ、豊かさ、そして寄り添ってくれることばの世界に魅了されています。



2 新型コロナウイルス感染症の流行によりだんだんテラスでは感染拡大を防ぐために活動を制限しています。

自粛しているサークル等は活動が再開しましたら、本通信にてお知らせいたします。



住所：京都府八幡市男山八望3-1 B47-104
 男山中央センター商店街
 アクセス：京阪バス「中央センター前」下車
 Eメール：dandan.terrace@gmail.com

だんだん通信 2月号

発行日：2021年1月26日
 発行元：だんだんテラスの会
 編集：辻村修太郎 / 団地再編プロジェクト

新型コロナウイルス禍における活動の工夫

今年度のだんだんテラスでの活動を振り返ると、例年開催してきたことが思うように実施できず、これまで「あたりまえ」にできていたことが「あたりまえでない」ということに気づかされた1年でした。

昨年は毎週のように作業実習に訪れていた京都府立八幡支援学校の生徒さん達も、この状況下では地域に出て活動することが困難であり、今年度は様々な工夫を凝らしながら、継続した交流を図ってきました。

作業実習の様子をカメラで撮影し、インターネットを通じてライブ中継でつないだ「らんらんファクトリー」や国語の授業に「だんだん句会」のメンバーが参加し、俳句を通じた交流等を実施しました。

便利なテクノロジーを活用した交流は、運営側の想像以上に、上手く進めることができ、どんな状況下に立たされても工夫をすることの大切さを教えてもらえました。下記には、昨年9月に実施した中学部1年生との交流の感想を掲載していますのでぜひご覧ください。

だんだん句会と八幡支援学校の授業交流

—「ことばをつなごう」をテーマとした俳句づくり

これまでなかなか俳句を作ることができなかった生徒が、当日中に三句もの俳句をつくる等、とても意欲的に活動に向かう姿が印象的で、実際にたくさんの俳句が生まれました。一緒に俳句を作る中で生徒達を見守っていただき、作った作品を大いに評価して下さることで、生徒達は自信をもつことができました。また、一生懸命に俳句を作る生徒の姿に感心する。そんな双方向のやりとりがあって、大変貴重な交流となりました。(一部抜粋) 上田優介先生 / 八幡支援学校 教育交流部

支援学校の生徒に接すると自分が見えてきます。自分の卑しさや愚かさが炙り出されます。今回も、兼題のコスモスの写真を前に黙考する女生徒に、手助けのつもりでコスモスに関する言葉をあれこれ投げかけても、彼女は黙ったままです。やおら、彼女が書いた文字が「秋風」でした。私には見えない「風」を見て、彼女は言葉を探していたのです。消え入りたいたい思いでした。(一部抜粋) 塚本正 / だんだん句会



兼 題：秋の空ほか
応募数：33句
入選数：7句

講評

一、そうですか、むかごが買えましたか！その喜びと無人販売所の小景が鮮やかに浮かびます。さあ懐かしい零余子飯ですね。二、長く暮らせば、団地がふるさとですね。その感慨と敬老日の爽やかな嬉しさが表現されています。ベトナムの人々にも、第二の故郷になるといいですね。三、三密は避け、遊んでいる若い人達が見えます。団地内の公園、広場でしょうね。心身の健康維持が大切！早く終息し「コロナ禍」も季節語になって欲しいですね。多くの句が兼題「秋の空」を的確に理解して作られ、実力伯仲で選句が楽しめました。国際交流も出来、佳い地域形成ですね。

入選句 だんだん 俳壇

第2回 小笠原信 選

- 一、空き缶の料金箱や零余子買ふ 爺爺
- 二、団地でふふるさとありし敬老日 聖々
- 三、コロナ禍も忘れ若人遊ぶ秋 静香
- 四、鏡伝池や光秀熙子の菊人形 爺爺
- 五、「ダーカウ」にトンボも参加高く舞う 麦子
- 六、海を越え八幡に降り立つ秋の羽 45
- 七、青年の笑み冬天へベトナムへ かつら

関大×URリノベーション住戸募集開始！

今年度も関西大学とUR都市機構が協働で設計した、リノベーション住戸の入居募集が開始されます。
2月13日から20日までの内覧期間後、21日に入居申込受付を行います。今年度は、下記のQRコードより、「バーチャルモデルルーム」もご覧いただけます。



小さく広く住む D17-406

VR バーチャルモデルルームは
スマホからお部屋をご覧いただけます！

ドマとマドから広がる C14-102

この住戸はC地区の1階に位置し、北側には公園があり南には木々が生い茂っています。北側を窓から外に開いている広い土間にし、友達が集い談笑が可能な場とし南側をリビングダイニングと寝室しました。



小さく広く住む D17-406

この住戸はリノベーションプロジェクトが進行中のD地区集会所の目の前の住棟です。押入れを撤去して南北の部屋をつないだことで、コンパクトな部屋でありながらも窓から広い景色を楽しむことができます。



VRで興味をもった方は現地内覧へ！

■内覧期間 10:00 - 17:00

■申込受付 10:00 - 10:30

2.13 (土) - 2.20 (土) 2.21 (日)



現地での意見交換会やDIY塗装を通じて、日々集会所のリノベーションが進行しています！3月には完成し、来年度から本格的な運営がスタートします！今後の動きも随時だんだん通信を通じて情報発信していきます！